



松風台自治会

防災会だより

防災部長をお引受して

防災部長 森田淑枝

日経新聞の3月の紙面に、自治会を脱会できるかという記事がありました。

入会・脱会は自由であるが災害発生時に最初に活動が始まるのは自治会なので、今後の事を考えれば入会しておいた方が良いのではという内容でした。

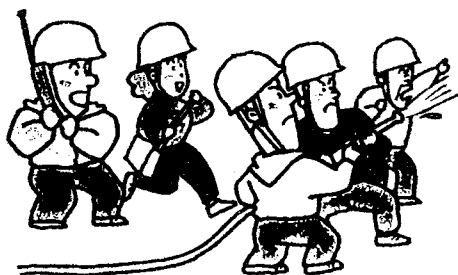
松風台は10年以前から防災会が整備され、なにより常任の方々がいらっしゃるというのは、とても心強いことだと思います。

会の方から届けていただいたこれまでに発行された防災会だよりを再度読み直し、また今回6月7日に防災倉庫の点検に参加させていただいて、よく色々な機材を年毎に着々とそろえ定期点検をきちんと実施されてきたものと、これまでの防災会の方々の地道なご尽力に大変感心いたしました。

私自身近くに住む義母が要介護4の状態ですので、災害が起きたとき、ご近所も高齢の方ばかりですし、家人だけで身の回りのものを持ち、なおベッドから外へ連れ出せるものかと心配です。災害弱者救済のような活動は、これから益々必要とされるものと思います。何かと機能する方向になれば期待する方は多いのではないのでしょうか。

私にとって勉強の年になります。

どうぞよろしくお願いいたします。



目次

- 1/4ページ 防災部長をお引受して
- 2/4ページ 行政からの防災に関するお知らせ
- 3/4ページ 平成20年度事業計画
- 4/4ページ 平成20年度防災会組織

最も高齢化の街の防災力維持向上

防災管理部長 橋本壽与

今月14日は「岩手・宮城内陸地震」が、先月12日は「中国・四川大地震」が発生し、毎日の報道では被災や復旧の状況などが刻々と伝わってきます。私たちの街 松風台は、平成7年の阪神淡路大震災の教訓を転機として防災体制の見直し改善が行われ、平成9年度から現在の体制で防災力向上に努力されてきました。

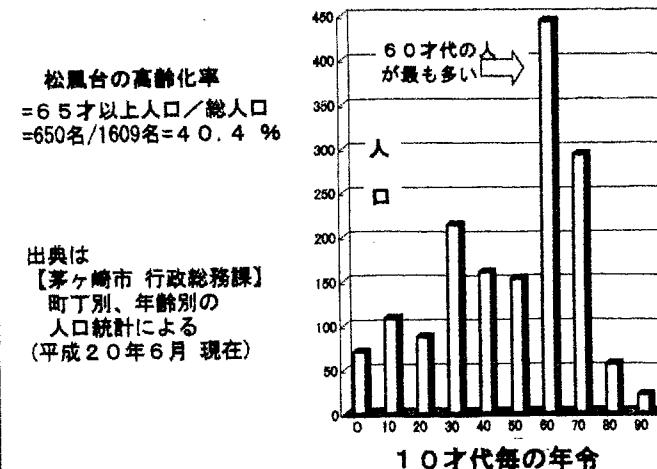
- ・組織面では、常任者のレベル、及び人数の増強
- ・資材機材面では、防災倉庫内への計画的な備蓄
- ・手順面では、防災ルールの見直しなどが行われ夏は南公園で消火・避難訓練を、冬には自治会館で避難生活訓練が毎年定着化しています。

これらの訓練は今後とも繰り返し維持・向上が必要ですが、更に近年は新たな課題にも取り組みが必須となってきました。高齢化の問題です。

松風台の高齢化率 遂に40%超！！

茅ヶ崎市内で最も高齢化率の高い松風台は65才以上の方が最近 遂に40%を超えました。60才以上の方は 何と50.7%(815名)で2人に1人です。

松風台/年齢別の人口分布



松風台には大災害時の避難移動の時に助けを求めておられる いわゆる災害弱者が30数名もおられ、今後更に増えていくことでしょう。

- ・平和な日頃 どのような活動を行えばよいのか?
- ・大災害が発生した場合 どのような行動するか?

森田防災部長も云われている通り、災害弱者救済の課題を今年度は更に推進したく、自治会と防災会が一体となり皆様のご協力をよろしくお願いします。